

# 地域再生 滞在講座 活動報告 2015



## 地域再生(丹波)2015 開講スケジュール

教員所属	教員氏名	教員の研究テーマ	受講生の受け入れ				現地ゼミ日程 (予定)	授業内容など
			2回生	3回生	研究室外 4回生	研究室 4回生		
エネルギー・環境工学科	林 順一 hayashi7@kansai-u.ac.jp	バイオマス利用を基礎とした持続可能な発展と低炭素社会の構築を目指す環境工学技術の開発	○	○	○	○	9月2日～4日	丹波地域を中心とした地域において、その地域再生につながるエネルギー環境技術である「バイオマスエネルギーの有効利用技術」を講義により内容を理解した後、環境、エネルギー関連施設を含む施設の見学を行う。
都市システム工学科	秋山 孝正 akiyama@kansai-u.ac.jp 井ノ口 弘昭 inokuchi@kansai-u.ac.jp	地方都市の交通計画、交通行動とまちづくり、知的情報処理の都市工学への適用、都市の経営戦略、都市の音風景、精神風土からみた都市地域計画、まちづくりにおける思想	○	○	○	○	8月8日～10日	丹波地域の地理的・歴史的な側面から精神風土を整理する。特に地域に伝わる昔話・民話を収集して、深層心理学的な分析を試みる。また関連する史跡/自然環境の現地調査を実行する。これらの活動から、丹波地域の個性を集合的無意識から考察するとともに、地域のまちづくりのありかたについて考える。
都市システム工学科	北詰 恵一 kitazume@kansai-u.ac.jp	景観行政システム、社会基盤アセットマネジメント、地理情報システムによる地域分析、まちづくりプロセスモデル、地方公共交通問題	○	○	○	○	8月10日～12日	「ありきたりの風景図鑑(1日のうろい編)の作成」青垣周辺を自転車に乗ったり歩き回ったりして、代表的なポイントでの写真をとり、1日の中でその風景がどのように変化していくかを分析する。
建築学科	江川 直樹 egawa@kansai-u.ac.jp	集住環境を形成する建築/集住環境を形成する都市構造/既成市街地、集住環境の再生	○	○	○	○	8月4日～6日	「設計エスキス集中講座」丹波を舞台に設計エスキスに集中しましょう。
建築学科	岡 絵理子 okaeri@kansai-u.ac.jp	住まいと暮らしの相互関係/集まって住む形と町との関わり/市街地の建築物・景観	○	○	○	○	8月1日～3日	農山村の住まいと暮らしを地域を通して探ってみましょう。50年前はどんな暮らしをしていたのでしょうか。今はどのような暮らしをしているのでしょうか。
建築学科	宮崎 ひろ志 h_miyazaki@kansai-u.ac.jp	環境共生型まちづくりの研究/環境共生型建築デザインの研究/都市環境評価手法の研究	○	○	○	○	8月6日～8日	丹波の自然を考える 兵庫県立人と自然の博物館(予定) 「丹波青垣の環境マップづくり」調査とマップづくり シカを減らしてシカを救う理屈を考える(予定)



地域再生(担当:岡絵理子) 8月1日～8月3日

# 「俳人・細見綾子の生家と詩の情景」

## 授業の目的

細見綾子の生家の実測を通して、俳人の心を育んだ空間と住まい、そこで営まれる現在の暮らしを考える。

## 授業フィールド

丹波市芦田地区

## 授業の構成

ゼミナール, 調査, 実習からなる。

## 参加者(8名)

担当:岡 絵理子 TA:熊崎 悠紀 福本 優 室長:出町 慎

建 12-0113 山元 至 ヤマモト イタル

建 13-0057 高山 晃一 タカヤマ コウイチ

都 13-0034 上岡 峻也 カミオカ シュンヤ

都 14-0066 野村 卓史 ノムラ タカシ

### 8月1日(月)

13:00～14:00

**レクチャー1** 佐治スタジオと佐治のまち(出町)

**レクチャー2** 調査の説明 グループ分け(3グループ)(福本・熊崎)

↓ 自転車

14:30～15:30

**調査1:**

**グループワーク1:**それぞれ、図面、地図の作成、視点場と視対象調査

①細見綾子自邸調査班、②自邸とその周辺調査班、③芦田集落調査班

↓ 自転車

17:15～19:00

**グループワーク2:**プレゼン資料作成(入浴OK)

模造紙2枚分に図面、地図を貼りつけ、景観構造、視点場・視対象を図示。

開校式 夕食

19:00～20:00

**レクチャー3** 景観の捉え方(岡)

20:00～21:30

**ゼミナール1** 景観調査発表会、明日の調査説明 意見交換会

21:30～22:30

懇親会

23:00

就寝 <岡、黒井屋へ移動>

### 8月2日(日)

7:00

起床

7:15～8:15

偉脚修治ぎああ勿食出発

8:30～9:00

朝食

↓ 自転車

9:30～12:00

**グループワーク3:**細見綾子の原風景探し、地域の方へのヒアリング

昼食; genten

12:00～13:00

(↓ 自転車)

13:30～16:00

**グループワーク4:**芦田で調査、or スタジオでプレゼン作成(入浴OK)

16:00～17:00

**ゼミナール2** 原風景調査発表会、意見交換会

**グループワーク5** 果發表会・棚校式・ヨン作成

掃除整理食準備・登糞整理当)

17:00～18:00

**グループワーク6:**プレゼンテーション作成

18:00～19:00

随時、夜の佐治散歩

19:30～22:30

就寝

23:00

### 8月3日(月)

7:00

起床

8:00～9:00

朝食

9:00～10:30

**グループワーク7:**発表用プレゼンテーションの作成。

10:30～11:30

**ゼミナール3**

11:30～12:30



東芦田集落, 細見綾子の生家



猛暑にも負けず、自転車に乗って集落の景観を調査した



夕食の様子, 1日の調査の反省について話し合う





# 地域再生（丹波） 設計エスキス集中講座 「川の傍に建つ休暇小屋の設計」



一日目 8/4(火)

佐治スタジオにて江川先生から実作を踏まえたレクチャーを受けた後、スタジオから西側に位置する岩屋山の展望台から青垣町を見下ろし丹波の自然を体感しました。下山してからは、各自夕食まで川沿いを中心に小屋の計画地を探しました。

二日目 8/5(水)

お昼の中間発表に向けて、各自敷地探しの続きや、スケッチ、スタディ模型を製作しました。中間発表後は、最終講評に向けて夜通し作業をしました。中間発表を踏まえて1から造りなおす人もいました。

三日目 8/6(木)

今年は少し余裕をもって終わらせる人が多く見受けられました。最終講評会では造り方についての指摘が多く見受けられました。小屋ひとつからいかに多くの事を考えるかを、参加者全員身をもって体験しました。

良い経験ですね！お疲れ様でした！

参加者

4回生 三浦 紋人  
3回生 和田 彬代  
2回生 石原 翔太 上田 翔太  
熊野 佐亮 谷 直輝  
栄 玲央名 村澤 雄樹  
TA 銅田 匠馬

教員 教授 江川 直樹

佐治スタジオ 局長 出町 慎  
スタッフ 植地 惇 関谷 大志郎

2015年 8月4日～8月6日



## 地域再生（丹波） 滞在型講座 宮崎ゼミ

### 目的

- ・ 佐治スタジオ周辺の熱環境を調べる
- ・ 佐治スタジオ裏の神社における夜間冷気流可視化観測
- ・ ドローンによる気圧測定
- ・ 研究室における実測を実際に行い体験する

### 日程・スケジュール

2015年8月6日（木）～8月8日（土）

- 1日目 9:00 関大出発  
11:00 杉原紙研究所で紙すき体験  
15:00 佐治スタジオ到着
- 2日目 9:00 自転車実測  
14:00 気圧測定  
18:00 神社からの冷気流可視化観測



### 内容

- ・ 丹波市の早朝における温度分布を知るためおんどとり、GPSを用いた自転車実測
- ・ スモークマシーンとレーザー光を用いて神社から出る冷気流を可視化、観測
- ・ ドローンを用いて地表面からの垂直高さにおける気圧測定



関西大学環境都市工学部

地域再生（丹波）滞在型ゼミナール

担当教員：秋山孝正・井ノ口弘昭（都市システム工学科）

丹波市春日・青垣地区のむかしばなしと地域計画

### 講義概要

丹波地域の地理的・歴史的な側面から精神風土を整理する。特に地域に伝わる昔話・民話を収集して、深層心理学的に分析を試みる。また関連する史跡や自然環境の現地調査を実行する。これらの活動から、丹波地域の個性を集合的無意識から考察するとともに、地域のまちづくりのありかたについて考える。

### 活動内容

日程：2015年8月8日～8月10日 2泊3日

- 8月8日  
現地調査 1：地元の語り部さんとバスで、春日町の民話ゆかりの場所を訪れた。熊野神社、三尾山、黒井・興禅寺など
- 8月9日  
ゼミナール 1：「むかしばなしと地域計画演習」講義  
現地調査 2：青垣町の民話ゆかりの場所を自転車で訪れた。高倉神社など
- 8月10日  
ゼミナール 2：調査報告会  
各自担当の民話について現地調査の結果と精神分析をプレゼンテーション方式で報告した。



参加学生：井上綾子・新開夏織・二川菜奈・  
上田大暉・太田和樹・左立博・辰巳綾菜・  
寺口寛人・西野真士・濱田美知瑠・  
石井優希・大西雄馬・川崎息吹  
TA：高良麻由





# 「里地の地区分類図鑑の作成」

2015年8月10日(月)～8月12日(水)

〈北詰ゼミ〉

## ○ 学習の目標

丹波市青垣周辺の地図や、自転車に乗ったり歩き回ったりして撮影した写真をもとに、人と自然との営みの融合としての里地・里山にどんなものがあるかを分類して、図鑑を作る。また、それによって里地のあり方や守っていく方法を考える。



自転車で青垣地区の  
観察に出発！！



丹波市の壮大な自然！！



隠れスポット発見！？



先生のアドバイス  
をもらいながら



各担当の分析を行い、夜遅く  
まで成果発表に向けて準備



最終日は各班からの成果発表！！

## ○ まちあるきによる魅力ポイントの発見

- ・ 魅力ポイントを含むつながりのある風景群の撮影と連続性 (シークエンス法)
- ・ 風景を特徴づける要素の発見 (SD(semantic differential)法, 物理量と相関分析)
- ・ 景観の構造と特徴分析 (類型別景観構造シート)



○ 担当教員

北詰 恵一

○ TA

北村 良太

○ 研究室参加者

小西 季依・小橋 昭文

○ 参加学生

〈3年生〉

中原 真琴・濱田 万葉  
保田 義之

〈2年生〉

岡 佑美・沓間 景  
坂口 大倫・竹内 美紗  
藤原 泰典

## ＜丹波におけるリサイクルと木質バイオマス利用 林 ゼミ＞

環境都市工学部エネルギー・環境工学科

エ 13-0038 佐々木 あや

### ＜目的＞

丹波市の地域において、その地域再生につながる「廃棄物や木質チップを用いたエネルギーの有効利用」に焦点を当て、エネルギーの有効利用を行う施設の見学を行いました。

### ＜日程・スケジュール＞

2015年9月2日（水）～9月4日（金）

1日目 事前講義

2日目 施設見学

クリーンパーク丹波

株式会社バイオマスたんば

青垣総合運動公園 バイオマスボイラー

3日目 講義のまとめ

### ＜施設内容＞

#### ・クリーンパーク丹波

ここでは、「熱回収施設」「リサイクル施設」「啓発施設」を備えており、「熱回収施設」では廃棄物を焼却した際に発生する熱を利用し発電を行っています。

#### ・株式会社バイオマスたんば

「株式会社バイオマスたんば」では、今まで捨てられてきた間伐材の有効利用として木質チップを製造し、バイオマス資源として有効利用をしています。

また間伐材を用いることにより森林保護に対しても貢献をしております。

#### ・青垣総合運動公園 バイオマスボイラー

数年前までは重油ボイラーを用いてエネルギーの供給を行ってきましたが、現在は「株式会社バイオマスたんば」で製造された木質チップを利用し、燃焼させた際に発生する熱を熱交換させることで温水プールに利用しています。





# 佐治の旧家を測って描く

講師

江川直樹 先生

米谷 良章 先生

能口 秀一 先生

参加者

M2 因田 恭崇

M1 銅田 匠馬 奥野 智士

大田 美奈子

B3 小寺 沙季 中村 穂希

松下 航大 森岡 永遠

B2 井上 綾子 掛川 英俊

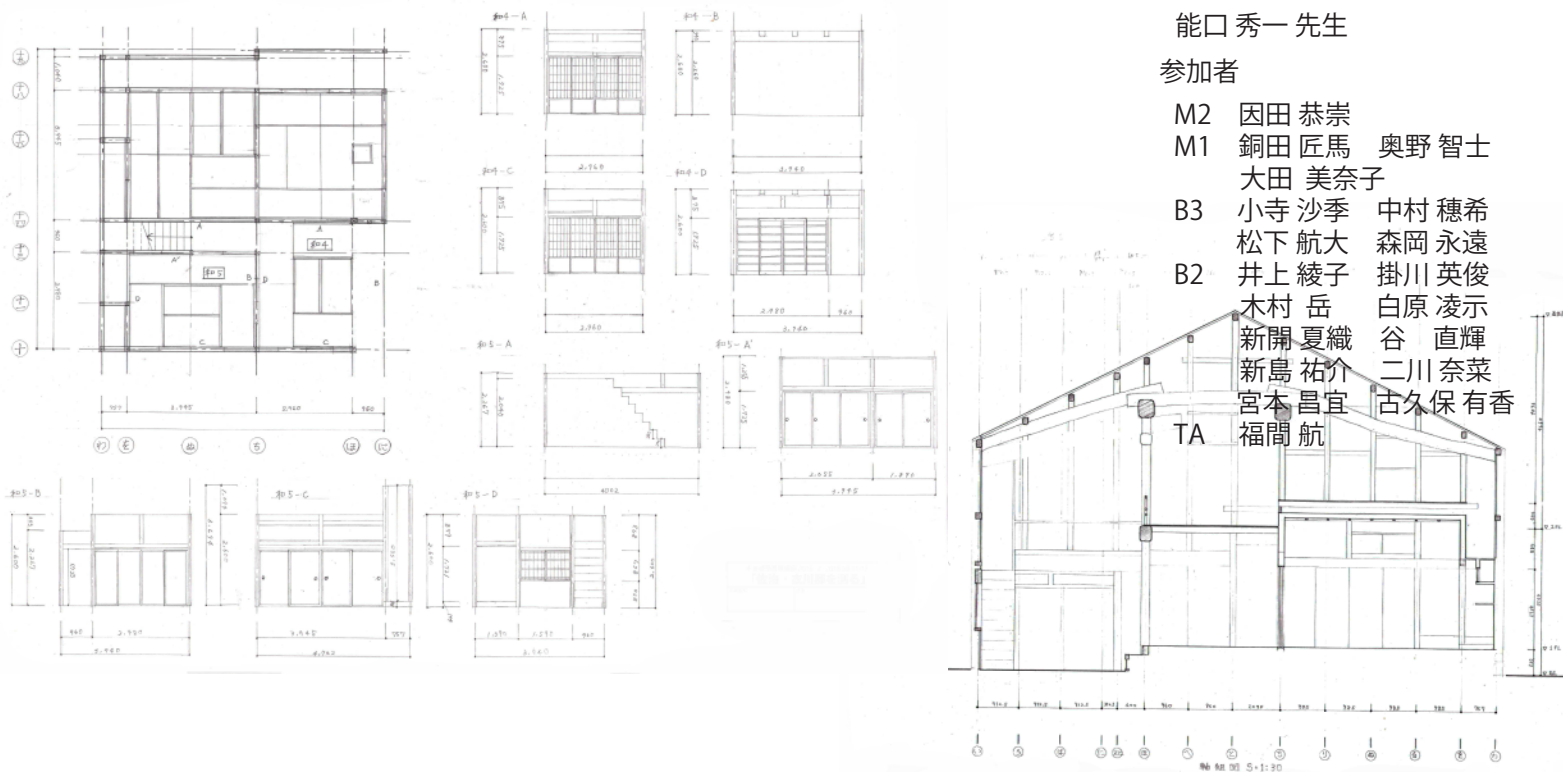
木村 岳 白原 凌示

新開 夏織 谷 直輝

新島 祐介 二川 奈菜

宮本 昌宜 古久保 有香

福間 航



9/11

**木造講座 開始 米谷先生**

【木造の概論@佐治スタジオ】

- ・全体の構造
- ・仕口と継ぎ手

**山&製材所研修**

**能口さん(木材コーディネーター)**

【木材について】

- ・山の見学
- ・能口さんの製材所見学

**木造講座 米谷先生**

【実測調査@佐治の民家】

- ・実測
- ・野帳作成

【調査の整理】

野帳を元に、グループで  
確認しながら整理

9/12

**木造講座 米谷先生**

【調査の整理】

- ・実測
- ・図面の清書

9/13

**木造講座 米谷**

【講評会】

書きあげた図面の講評

**講座終了**



今年は佐治の旧家が舞台



佐治スタジオで木造の概論レクチャー



木材コーディネーターの方より木について



山に分け入り木を学ぶ



実測調査開始



手書きで図面作成



地域の方の料理を皆でいただく



日が暮れても講義は続く